今できることを全てやり 仲間に寄り添い組織を大きく

3・5%月間目標達成めざし全支部、分会が奮闘

感染症対策でフェイスシールド等も

江東・大島
宝物のリストを手に「全自動訪問」で

【江東・書記・実川英治通信員】拡大といえば訪問……しかし、コロナ禍でその訪問すら躊躇せざるをえない状況の中、江東支部・大島分会では普段からの分会と群との協力関係そのままに、組織力を発揮しました。8月の分会機関会議を利用して各群長に協力を要請、仲間への訪問の可否を事前に各群で調べてもらい、その回答に沿って秋の訪問を進める作戦です。題して、大島分会の「訪問してもいいですよリスト」……分会の宝物です。

訪問OKは○、訪問ダメは×と各々の名簿に記載されたリストに従って、分会役員は訪問か電話かけかを事前に整理しておきます。センターに集まってから全員で膝を突き合わせて「今日はどうする？」ではなく、その日の行動をあらかじめ決めておくことで始動もスムーズ、訪問していく側も「密」にならない優れモノです。今回、大島分会さんは、土建国保の減免とコロナ対策家賃支援給付金を相談。「申請できるのかわからなかった。必要書類など近場のセンターで相談できて良かった」と笑顔で帰り、さっそく翌日支部に申請しました。

一方、花小金井分会も4人の分会役員が集まり、群会議で呼び掛けた仲間のコロナ対策相談を行ないました。花小金井分会の会場に参加し、今年度から群会計になった古川さんは、「土建国保が減免されるとはわからなかった。群会議で知り、相談して良かった。他の人へも伝えますね」と分会の活動を改めて知る機会となりました。

この日の相談会では、各会場で4人、合計8人の相談者が訪れ、持続化給付金3件、家賃支援5件、国保減免4件の相談が寄せられました。分会役員からも「申請ができるかもしれないのに、知らない仲間がいる。声掛けしないとダメだな」と新たな意気込みが生まれる日曜行動となりました。

板橋・徳丸
ラリー参加者から情報 対話の大切さ実感

訪問グッズを渡す徳丸分会の吉田さん（左）と野崎さん（中）

【板橋・建築事務・野崎寿江通信員】徳丸分会は日曜、夜間の拡大訪問行動に、毎回5、6人が参加、2チームに分かれて、好評の「元気の出るたまご」やメリット集などの訪問グッズを持ってまわっています。

9月は主に秋のスポーツイベント「どけんラリー」のお誘いで、小さな子どもさんのいる組合員を訪ねました。新型コロナの影響を受けていないか、仕事の状況を聞き、給付金の申請をすすめました。10月は就業実態調査の対象者を中心に訪問しています。収入の減少で土建国保料の減免制度を知らせたら、「申請手続きをしたい」という仲間もいました。

「どけんラリー」は徳丸分会から予想以上の参加がありました。「納入が面倒だという元組合員を知っている」職場の仲間で未加入者がいる」という情報を得ることができ、成果につながりました。

訪問対話の大切さを実感し、行動の原動力になっています。必ず達成しようと奮闘しています。

葛飾・中央
役員が一丸になり 分会独自グッズも用意

グッズを渡し説明

【葛飾・書記・小藤隆之通信員】葛飾支部13分会ある中で中央分会は、この秋の拡大月間、他分会をリードし、仲間づくりの月間を進めています。目標数は14、現在10人の加入です。新型コロナでの影響のある状況ではありますが、統一行動日だけではなく、日中訪問行動も含めて積極的に行動。葛飾支部独自のジャンボハガキや、梨、分会独自の訪問グッズなどを用意し訪問行動を進めています。

また、ただ訪問するだけでなく、女性役員さんならではの視点・気配りも訪問行動に活かしています。持続化給付金などの話もそうですが、お子さんがいる組合員訪問には手作りのお菓子の話め合わせを持参するなど工夫をしています。

日中行動は動ける分会役員が事業所訪問行動を行なって、拡大行動だけではなく分会とのつながりをつくる努力もしています。

目標達成まであと少しという状況で、分会役員からは、先が見えてくるとやる気が出てくるという意見や、新しく担当になった書記のデビュー月間は達成させたいという意見も出て、目標達成に向け役員が一丸となって取り組んでいます。

和南・大和・山大・村山
やはり群会議は重要だ 持続化給付金出た

【村山大和・畠・春日井徹記】今回の拡大月間は難しい。組合員訪問ひとつですら非常識と言われかねない。試しに群の仲間を訪問してよいかと尋ねたら、群長から断られた。

そんな中でもできることはないかと考えて、まず拡大のスタートを知らせるハガキを全員に出してみた。いつもは来ないものが来れば見てくれるのでは。

群会議にいかに重要であるか再確認できた。

地域の建材屋など我々の出入りするところに土建のチラシを置いてもらえるように回った。断られて元々との思いでやったが2店舗で置いてくれることになった。「お客さんにユニオンの組合員さんもいるから、勧めるのは無理ですよ」と言われた。当然だ、置いてくれるだけで感謝。

現在、「やれることはやりきろう」を合言葉に奮闘中。成果はまだ半ば。

春日井さん（右）と宮田さんで訪問。土建のチラシを置かせてもらう

杉並・井荻
PCR署名も活用 家族の協力えて宣伝

【杉並・書記・喜多正之通信員】杉並支部・井荻分会は月間を「コロナと正面からたたかう、誰一人取り残さない、労働組合らしい運動」の期間として取り組んでいます。

電話や訪問で仕事やくらしの困りごとを聞き取るなかで、持続化給付金はじめ各種制度を活用し仲間の悩みを軽減しています。昼に必要書類を説明したうえで、夜に分会センターで持続化給付金の申請をした事例もあります。

日曜行動では少年部員（組合員の息子さん）も参加し、訪問先の組合員宅の近所でのチラシまきもあわせて行ないました。10月に支部全体で区長あてに建設業へのPCR署名に取り組むことになったのを契機に、未加入事業所への声掛けもすすめています。10月21日現在、月間は目標14人のところ9人の到達。

高橋孝志分会長も大好きなストロングゼロを断ち「労働組合らしさを発揮するのは今。あとひといき、やりきります」と熱く語ります。

組合員（左）宅を訪問する右から石川支部組織部長、松田副分会長、大島執行委員

多摩西部・玉川
生の声を活かし 訪問と電話連絡で

玉川分会の蔭山書記長（右）と加入書を掲げる久保田さん

【多摩西部・書記・荏畑直人通信員】多摩西部支部では、各分会で「支部機関紙」や「事業所向け学習会」を対話材料にマスクや宣伝チラシを活用し電話連絡と訪問対話行動を行なっています。また組織強化を目的として、多くの分会でバスレクやBBQなどを開催しました。コロナ禍の影響で仲間と対話をする機会が不足していたので、あらためて意思統一をする良い機会になったと好評の声をいただくことができ、より一層の組織の強化に繋がったのではないかと思っています。

玉川分会では、役員を中心に分会センターに集まり電話連絡をするグループと訪問をするグループの2チームに分かれ拡大活動を行なっています。電話連絡では遠方の仲間など群会議に顔を合わせる機会が少ない仲間を中心に連絡し、思わぬ対象者の発見につながったということがありました。訪問活動時には、コロナで困っている現状などの生の声を聞くことができました。

訪問時に得た現場の生の声を活かし、求められる組織に発展できるよう一層奮闘していきたいと思っています。

三鷹武蔵野・武蔵野中央
現場の状況改善され「助かった」の声

【三鷹武蔵野・書記・三澤克己通信員】三鷹武蔵野支部では、拡大月間後半戦に入り、新型コロナの給付金の相談だけでなく、「支部開催の足場の組立て等の特別教育をすすめる」「公営国保料が高くて困っていないか」「独立して労災の加入が必要な仲間はいないか」「法人化の予定はないか」など支部独自でチラシ（上）を作成して仲間への声かけを徹底し、昨年を上回る訪問件数の到達を築きました。

組織部長を先頭に居住地ごとに訪問先を拾い出し、訪問行動を行なっている武蔵野中央分会では、昼間でもなかなか会えない事業主に事前に電話でアポイントをとり訪問を行ないました。新型コロナ等の対話の中で、事業主の方から「大成建設の現場でコロナのクラスターが発生した件で、東京土建が声を上げて国会で取り上げてくれたおかげで現場の状況が改善されたよ」と現場の写真や資料なども見せていただき、貴重な情報を得ることができました。

相談活動で仲間に寄り添い、信頼関係を構築することを秋の目標に掲げ、コロナの相談や現場の改善などの成果を共有する中で、目標を超過達成することができました。

小平東村山
上宿と花小金井分会で コロナ相談会も

役立つ制度を説明する

【小平東村山・書記・奥田八志記】小平東村山支部では、10月18日に上宿分会と花小金井分会が日曜行動と同時に分会センターでコロナ対策相談会を取り組みました。

上宿分会では、午前9時に12人の分会役員が集合し、チラシ配布班と組合員訪問班、相談班に別れて行動を開始しました。上宿分会の相談会に訪れた古田さんは、土建国保の減免とコロナ対策家賃支援給付金を相談。「申請できるのかわからなかった。必要書類など近場のセンターで相談できて良かった」と笑顔で帰り、さっそく翌日支部に申請しました。

一方、花小金井分会も4人の分会役員が集まり、群会議で呼び掛けた仲間のコロナ対策相談を行ないました。花小金井分会の会場に参加し、今年度から群会計になった古川さんは、「土建国保が減免されるとはわからなかった。群会議で知り、相談して良かった。他の人へも伝えますね」と分会の活動を改めて知る機会となりました。

この日の相談会では、各会場で4人、合計8人の相談者が訪れ、持続化給付金3件、家賃支援5件、国保減免4件の相談が寄せられました。分会役員からも「申請ができるかもしれないのに、知らない仲間がいる。声掛けしないとダメだな」と新たな意気込みが生まれる日曜行動となりました。

荒川
創意工夫を発揮 委員長が宣伝カー運行

【荒川・書記・金史樹通信員】荒川支部でのこの間の取り組みでは、仲間の声を拾い上げるために全組合員・事業所に対話（可能な範囲で訪問・群会議・電話・メール・LINE等）を行なっています。群会議や訪問時には雇用調整助成金や持続化給付金、家賃支援金など申請ができる対象になっていても方法などがわからない仲間、制度自体を知らない仲間がいないかも聞き取りを行なっています。

後半戦の10月では、津田宗久委員長が自らハンドルをとって宣伝カーで区内を回って奮闘しています。

8月に行なわれた拡大決起集会での本部常任中執の芳井武さんの「創意工夫を」との激励から、各分会は新型コロナ禍のなかで自分たちがやれることを話し合い、電話掛け、アポをとってからの訪問、密を避けて拡大の行動に心がけてすすめています。

1月1日現勢2017人に対し1988人で折り返し、秋の拡大目標は71人のところ10月20日現在39人の到達となっています。

分会では、今年度から後継者対策部長になった佐々木さんが自分の持続化給付金の申請後、「地元仲間の申請を協力したい」と「困ったときは組合へ相談」を実践。仲間の救済と対象者へとつながりました。また、10年前に組合をやめていた元組合員が、やめるときに「困ったことがあったらまた組合に相談してね」の仲間の言葉を思い出し組合へ連絡。相談業務と労災特別加入などで一挙に4人の加入にもつながりました。

国分寺・小金井
① 元組合員の困り事から 加入につながる

ポーズを決める左から篠崎書記長、高橋常任、佐々木後継者対策部長、高橋分会長

【小金井国分寺・書記・坪野幹通信員】新型コロナの騒動がおさまらないなかですが、秋の拡大月間は分会役員のいつもの拡大スタイル「全組合員訪問」は無理でも、全組合員との「対話」へ向け、もうひとつのスタイル「全自動訪問」で西へ東へと走り回ります。

午後7時に書記が分会センターへ行ったら誰もいない、まるで全自動洗濯機のように全員がすでに訪問へと出発してしまっている分会……それが大島分会です。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

今回の月間では、仲間の紹介から加入につながる事がいつも以上に多いのが大きな特徴。行動日には感染防止対策を充分に取り、短時間で集中して組合員訪問に取り組んでいますが、仲間を訪問した際は、コロナ関連の相談に成果が積み重なっています。

新組織部長がつながり活かし拡大―新宿

【新宿・角谷美樹記】新宿支部は、8月23日活動者会議を43人の参加で行ない月間をスタート。今年は、コロナ禍・新規に「電話かけ行動分会補助金」を設けて、健診とあわせて「コロナの影響どうですか？」という電話かけ行動を提起しています。

今年新たに組織部長となった隅田祐太郎副委員長が、自分の仕事のつながりを活かして2人拡大。入社拡大が多い新宿支部では、「仲間のつながり拡大」は快挙です。10月23日に開催の「改正民法」学習セミナーを月間終盤の目玉として位置づけていて、ここに、その新加入のお二人も参加してくれました。

支部の組織人数が増勢傾向なのは、4月から脱退者を出さないように仲間の相談対応を方針化しており、滞納者のていねいな対応を含めて、脱退数を抑えている効果もあります。引き続き、コロナ個別相談を徹底して取り組み、春に続いて秋も目標達成をめざします。

詰将棋の解答

▲3三歩△2一玉▲3一角成△同玉▲4一飛△2二玉▲4二飛成△2一玉▲3二竜まで9手詰。